



# 鈴原だより

Suzuhara Elementary School News

Contents  
祝進級・入学  
自己肯定感って何？  
新たな挑戦へスタート  
新組織

校長 春名潤一

進級・入学おめでとうございます



本校ホームページQRコード

## さあ、出会いの春です

### 新しい人と出会う。新しい自分に出会える。

すべての出会いに意味がある。あなたの人生が世界一の物語でありますように。ひとのときを、想う。(JTの広告 テレビCM ひといきつきながら 出会い篇 2017年より)



みなさま、ご進級ご入学おめでとうございます。

桜の花びらが舞い散る中、新学年がスタートしました。「担任の先生は誰かな？」「同じクラスには誰がいるかな？」・・・ワクワクドキドキ子どもたちは登校してきたことでしょう。「出会いの春」がはじまりました。

人生は出会いの連続です。新しい友だちや先生との出会いは、ものごとの考え方や見方をひろげてくれます。「そんな生き方があるのか」「こういう考え方もあったんだ」など、今までとは違う価値観に触れることが自分を成長させてくれます。

そして、そういった出会いをつうじて、新しい自分との出会いもたしかめることができたら素晴らしいですね。



### 新たな挑戦へスタート

出会いが私たちを成長させるのと同じく、鈴原小学校も新たな教職員組織をスタートさせました。  
(裏面をご覧ください)

永年の学校教育目標と昨年度の課題をふまえて、新たな教育ビジョンを設定し、その具現化にむけて全職員が力を合わせて取組をすすめます。

詳しくは学校通信第2号を乞うご期待です。

## ところで自己肯定感って何？

昨年度の取組や各種調査結果から、本校児童の課題の一つとして浮き彫りになった「自己肯定感の低い傾向」。この解決のため、今年度の本校は、「自己肯定感の醸成」にも重点的に取り組みます。

それでは、「自己肯定感」っていったい何なのでしょう？

自己肯定感が低いと「自分には良いところがない」と考え、怒られると自分を責めてものすごく落ち込んでしまいます。そのため、怒られても気持ちをすぐに立て直せず、投げやりになりがちです。また、自分にはできないと思ってしまう、新しいことへ挑戦することに消極的になります。保護者や周りの大人達が「やってごらん」と声をかけても挑戦しようせず、中には拒否する場合があります。

実は自己肯定感の高い子供は褒められたらありがたそうと喜ぶ様子が見られます。しかし自己肯定感の低い子供の場合は、褒められるようなことはしていないという考えが先に出てきます。そのため喜ぶ様子がありません。

見られない場合があります。「間違ってるかもしれない」「意見を言っても相手にされない」といった自信のなさから、意見を言えなくなってしまうことも多いです。

同時に、周りの意見に流されやすく同調しがちという特徴があります。これは、周囲に同調することで「目立たなくて済むだろう」と安心するためです。

諦めが早いというのも、自己肯定感が低い子供の特徴です。物事にチャレンジして粘り強く努力できるのは自己肯定感があるためですが、自己肯定感がないと「頑張ったってどうせ無理だ」と、早々に諦めてしまうのです。

早い段階で諦めるため新たな自信に結びつきにくく、自己肯定感がますます下がるという悪循環に陥ってしまいます。

自己肯定感に関する調査によると、小学生の時期は自己肯定感が下がる時期であることが分かっています。6歳、7歳ごろは自己肯定感が高いのに対し、学年が上がって10歳から11歳以上の高学年になると、自己肯定感が徐々に減少傾向となるのです。

それでは、このやっかいな自己肯定感を醸成する(=高める)ためにはどうすれば良いのでしょうか？

(続きは次号で・・・)